

安心して日々の透析生活を送るためには、安定したブラッドアクセス（＝シャント）を維持管理することが大切です。当院では年間136例（2007年度）のブラッドアクセス関連手術を行っています。小さな工夫を重ねることで、「自己血管を用いた穿刺し易い内シャント作成すること」を理想としていますが、さまざまな理由でそれが困難な場合には、人工血管を用いた内シャント作成術や動脈表在化手術も行っています。

「シャントが穿刺しにくい」「血液流量がとれない」とお困りの方がおられましたら、一度ご相談ください。私どもの技術がお役に立つかも知れません。

シャント手術件数（2003年～2007年）

